
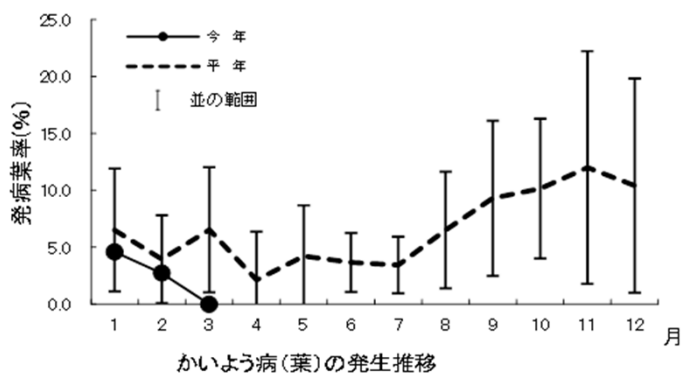


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
3月の発生量 (現況)	(発生なし) やや少		
4月の増減傾向	↓		
増減傾向の根拠	発病葉率の平年の発生推移から、3月より発生量は減少すると考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)




防除のポイント

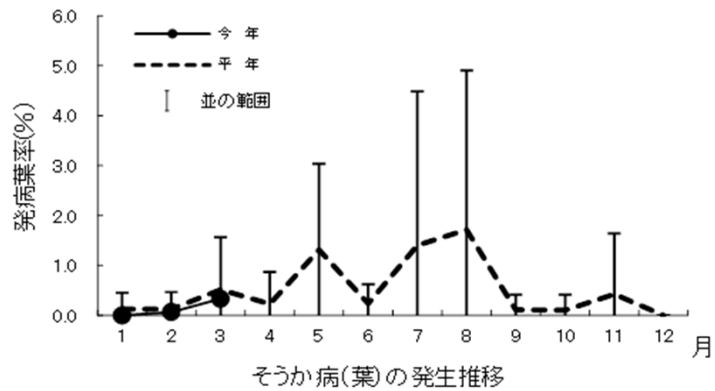
- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・ 罹病葉・枝は翌年の伝染源になるので除去する。



ハモグリガ被害痕からの感染

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② そうか病		
3月の発生量 (現況)	並		
4月の増減傾向	↓		
増減傾向の根拠	発病葉率の平年の発生推移から、3月より発生量は減少すると考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)




防除のポイント

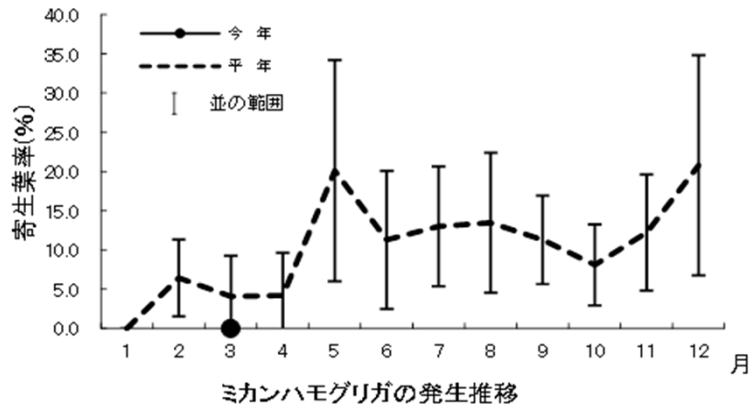
- ・罹病葉・枝は翌年の伝染源になるので除去する。



罹病葉


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ミカンハモグリガ		
3月の発生量 (現況)	(発生なし) 並		
4月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	寄生葉率の平年の発生推移から、3月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)

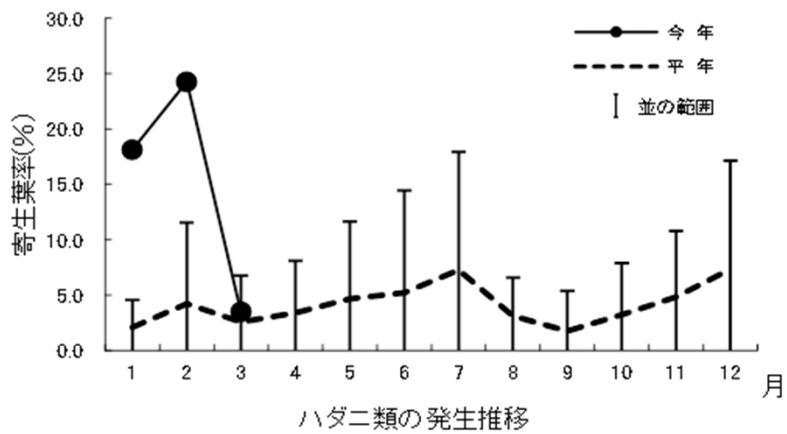


防除のポイント

- ・ 本種による食害痕からかいよう病が発生しやすく、翌年の伝染源になるので、被害葉の除去に努める。
- ・ 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ハダニ類		
3月の発生量 (現況)	並		
4月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	寄生葉率の平年の発生推移から、3月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)



防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状